

森林の利用と環境権(博論)1991

森林所有権の社会的制約を**法学**＋**財政学**の手法により論じた。

森林資源勘定

森林に関する**公的統計**の在り方を**会計的枠組み**を借りて議論

制度研究

**林地ゾーニング**の一般理論  
**保安林制度**の国際比較

博論で積み残された課題:「**森林所有権の歴史の内外事例**調査による帰納的な理解から法則性の理解に至ること」

○フランスの林政・林野制度史(含・森林統計制度史)

○近代における治山政策と林政の展開:仏・奥・日

「**山地林**」「**公益**」への着目

比較林政史、仏国法制史、公物論

具体的分析対象として

→近代林政草創期の「**森林監守人**」に着目

・野溪監護事業への道のり(オーストリア・チロル州)

・ショーの森(フランス・ジュラ県)

**公法学者**・**歴史学者**との共同研究のなかで、チロルへの現地調査や、仏・Jura県文書館での史料収集を行い、とくにJuraでは19世紀末～20世紀初頭における森林監守人の処遇・育成・活動に関する研究を行っています。